

山県市子ども・子育て会議（第1回）議事録

[日時] 平成26年2月6日（木） 午後1時30分～

[場所] 山県市役所 3階303会議室

[出席委員] 林委員、丹羽委員、瓜野委員、木村委員、柏木委員、村瀬委員、横山委員、若園舞子、山田委員、河野委員、上野委員、中島委員、江川委員、長屋委員、渡辺委員、佐村委員、中村委員、高屋委員、安川委員

[欠席委員] 森委員

[事務局] 福祉課（江口課長、中村課長補佐、白木、小南）、健康介護課（加藤課長補佐）

[議題]

- 1 開会
- 2 副市長あいさつ
- 3 委嘱状の交付
- 4 事務局、委員の紹介
- 5 山県市子ども・子育て会議規則について
- 6 会議の公開、議事録について
- 7 会長、副会長の選出
- 8 議事
 - (1) 子ども・子育て支援新制度の概要について
 - (2) 子ども・子育て会議スケジュール
 - (3) 山県市の現状について
 - (4) ニーズ調査の集計結果報告（一部抜粋）
- 9 その他
- 10 次回の日時について
月 日（ ） 時
- 11 閉会

[議事の概要]

1 開会

事務局	みなさん、こんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 事務局の福祉課長江口といたします。今回第1回ということで副市長よりあいさつ もうしあげます。
-----	--

2 副市長あいさつ

副市長	みなさん、こんにちは。今日は非常に寒い中、お集まりいただきありがとうございます。 子ども・子育て会議ということで子ども・子育て3法により山県市で計画 を策定し、県（国）に報告することになっています。山県市では子育てをする前に 子作りをなんとかしなくては、とも言われています。山県市は全国的にも出生率が
-----	---

	低いです。全国的にも半分位の地域で過疎化対策を行っています。少子化はなかなかとめられませんが山口市の中で健やかに安全に育てられる環境を作っていきたいです。よろしくお願いします。
--	--

3 委嘱状の交付

事務局	続きます、委嘱状の交付を行います。本来ですと委員の皆様お一人お一人に対し、委嘱状を交付させて頂く所でございますが、時間の関係上、代表して林委員に交付させて頂きます。その他の委員については机の上に置かせて頂きます。
	～委嘱状の交付～

4 事務局、委員の紹介

	～自己紹介～
--	--------

5 山口市子ども・子育て会議規則について

事務局	～資料2について説明～
-----	-------------

6 会議の公開、議事録について

事務局	この会議は「山口市附属機関等の設置及び運営に関する要綱」第7条により基本的に公開とさせていただきます。傍聴希望者はホームページで募集し、会議の資料、議事録についてもホームページに掲載します。なお、議事録については会議の録音を基に事務局で作成し、会長に確認して頂くという風に考えております。何か意見のある方はいらっしゃいますか。
委員全員	～異議なし～

7 会長、副会長の選出について

事務局	山口市子ども・子育て会議規則第5条の規定により会長、副会長の選出を行いたいと思います。どのように決めさせていただきますでしょうか。
委員	事務局で案はなにかありますか。
事務局	それでは事務局から提案させて頂きます。 会長に中部学院大学子ども学部長の林陽子様、副会長に山口市子育てネットワーク協議会会長の丹羽洋子様、ということでどうでしょうか。
委員全員	～異議なし～
事務局	それでは会長、林陽子様、副会長、丹羽洋子様とさせていただきます。規則により議長は会長が行うこととなっておりますので、ここからの議事の進行は会長にお願いさせていただきます。
会長	只今、会長に選出をされました、中部学院大学の林と申します。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。では、議事の第1番目でございますが、子ども子育て支援新制度の概要について事務局からご説明をお願いします。

8 議事

(1) 子ども・子育て支援新制度の概要について

事務局	～資料3について説明～
会長	ありがとうございました。今、事務局から説明をしていただきました。初めて耳にする用語ですとか、大変複雑な制度でございますので、一回お聞きただけでは

	<p>ちょっと難しいとは思いますが、今ご説明いただいた範囲内で、もうちょっと説明をしてほしいとかこれどういう意味ですかというのがあれば、質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>もともと、この子ども子育て支援新制度の仕組みの説明は、ものすごい量が多く大変なのですが、それをコンパクトにまとめていただいております。今すぐご質問というのは難しいかもわかりませんので、次の議題に移らせていただいて、そこでまたこれに戻ってご質問があればお聞きするというような形で進めさせていただきたいと思います。それでよろしいでしょうか。</p>
--	--

(2) 子ども・子育て会議スケジュール

会長	<p>それでは、議題の2ですが、子ども子育て会議のスケジュールについてご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～資料4について説明～</p>
会長	<p>ありがとうございました。パッと見ただけでも忙しいスケジュールだなと感じられたのではと思います。今ご説明いただいた計画というのは、子ども・子育て支援計画のことでいいですか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。省略してありますが、山県市子ども・子育て支援計画の事です。</p>
会長	<p>国から提示された一定のフォーマットがあり、これとこれは必ず計画の中に入れ込まなければならないという決まりがあったり、入れ込む量についてはニーズ調査をやって、そこから見込み量を求めなさいということですね。先ほどのご説明ですと、つい最近、国からニーズ調査の結果、つまり数字をどこかに打ち込むと見込み量が出るという体系が提示されたので、今作業中だと理解してよろしいですね。</p>
事務局	<p>1月前に国から見込み量の様式が来ましたが、現在も国の子ども・子育て会議が動いている最中です。いま、ここで検討頂いて量の見込みを作ったとしても、追加でまだ資料が来るということは、今後有り得ます。</p> <p>もう一つ、子ども・子育て支援計画は27年4月からスタートしますが27年度の入所受付は10月ごろとなります。現在こちらで作成している量の見込みの確定したものが今度新しく入ってくる保護者の方へ募集を掛ける柱となるので、9月までにやらなくてはならないのですが、これも短期間で申し訳ないですが皆さまのご協力がないと計画が策定出来ないということになります。</p> <p>これらは、岐阜県下すべての市町村で、こういう会議をやりながら進めている所です。第1回目を行っている所には、まだこのニーズ調査の案の中身を検討している所もあります。そこは、3月ぎりぎりになるので、一杯一杯でやっています。</p> <p>2日前に、県で市町村への説明会がありましたが、スケジュールが大変厳しいとの説明を受けました。先ほど説明しましたスケジュールについて、ひよっとすると会議の回数が増える可能性もあるので、ご了承をお願いします。</p> <p>また調査票については本来、会議で検討して頂き作成するものですが、国で調査票（基本案）が出来たのが昨年8月と遅れたため、出来ませんでした。調査業者の決定、調査準備、調査期間、集計等を考えると時間的に難しかったため、こちらでやらせて頂きました。</p> <p>調査結果について、山県市は回収率がすごく高い結果となりました。資料6の2ページ目の回収状況をご覧ください。就学前の児童保護者については870件配布のうち、回収数598、回収率68.7%、小学生の保護者については、779件配布のうち回収数が683件、回収率が87.7%。通常のアンケートですと38%位ですのだから</p>

	り高い数値となっています。
事務局	通常は大体 30～40%くらい。山州市の回収率は、保育園あるいは学校を通じて調査票の配布回収したため高くなっているのではと思われます。
事務局	中身の濃い調査内容になっていると思います。現在、調査結果を精査しながら汲み上げを行っておりますので、次回の会議にはある程度の通知のものを皆様にお渡しできると思います。
会長	ありがとうございました。今、ご説明をいただいた通りです。今のお話で、ドキッとされた方もおられるか分かりませんが、一応、そのスケジュールでは会議は3、4、5回と設定されていますが、場合によってはこれがひょっとしたら増える可能性があるということですね。
事務局	今後は会議で頂いたご意見を事務局側で汲み上げ、会議へ報告となります。その場その場で国との整合があり出来ない話もありますので、一応このスケジュールで行く予定ですが、増える可能性もありますのでよろしくをお願いします。
会長	個人的にはあまり増えてほしくないなどの考えがありますが、とにかく国がらみの計画ですので国の動きによって、言葉は悪いですがけれども翻弄されがちな所もあるので、委員の皆様にはそういう所も含めよろしくお願ひいたします。では、スケジュールにつきましては皆様にはご理解をいただくということをお願いをさせて頂きたいと思います。 では、いままでは国のフォーマットに基づくものやスケジュールについての説明でしたけれども、次の議題からは、山州市の現状についてと、今も少し触れて頂いたニーズ調査の結果についてのご報告があるので、また委員の皆様から意見やご質問をいただきます。

(3) 山州市の現状について

会長	山州市の現状について事務局からご説明をお願いいたします。
事務局	～資料5について説明～
会長	ありがとうございました。山州市の現状を事務局から説明していただきました。もう少しこのようなところのデータが知りたいなどありましたらどうぞ。
委員	山州市は少子化が進んでいるとのことですが、山州市内、外での仕事（企業）のことが関係しているのではないのでしょうか。私事ですが、ちょうど私の子どもが結婚をして子供を授かりました。私には3人の子どもがいるのですが、1人だけしか地元に残っていません。山州市もしくは山州市から通える場所に仕事（会社）がないと住めないのでは。逆に地元で仕事があれば戻って来るのではと思います。 先ほど平成21年から22年にかけて出生数が減ったという説明がありましたが、私は正直大きな会社が山州市から例えば関市に移ったなどが原因であるのかと思いました。それらも出生数減少の要因の一つとして調べていただけるとありがたいです。仕事があると、たとえ他市町に住んでいたとしても、山州市に住みたい、また山州市に残って仕事したいと思うのでは。
会長	ありがとうございました。婚活の方からもご意見があるとよいのですが。婚活の成果もあると思いますが、今、お話いただいた、若者が減るなどというのは、仮に市外であっても近いところに職場とか働く場所があるかどうかという関連が結構大きいかと思います。
委員	婚活（「山県楽しいプロジェクト」で実施）ですが、計4回位行ってきましたが、男性が一番過疎が進んでいる美山地域が一番多いです。年齢で見ると女性は30歳

	<p>代以上が多く、男性は 10 歳代が多く、このミスマッチがなかなか婚姻まで繋がらなくて、私たちも対策を練っているところです。</p> <p>今、過疎対策という中で、美山地域の男性で考えると、20 歳代から出会いがない状態になっております。だから市外で出会いを探そうとし、市外に出れば市外の女性と結婚し、女性側から「うちの近くで！」ということで市外に住むということになると思います。</p> <p>市内企業に勤務の男性であっても、結婚と同時に岐阜市に移る、という方を私の周りでもよく聞きます。お嫁さんから「山縣市って田舎だから、嫌やし」と言われて岐阜市に行かれる方もいると聞きます。そういう中で山縣市に住んで楽しいとか、住んでみたいなどの魅力的なまちづくりがないと、結婚して子どもを産んでここに住んでということがないのかなって、何か一つの目玉となって子どもとか子育てとか一つ誇れるようなものがないと・・・私は誇れるようなまちだと思いますが、婚活をやっていて切実に思います。</p>
会長	市の総合計画に踏み込んでいくようなことになるのでは。
事務局	今ちょうど総合計画を策定している所で、今年度から来年度中に策定する予定ですが、そのようなことも出てくる可能性が十分あると思います。
会長	総合計画のような大きな計画の中で山縣市のブランド力の一つとして子ども・子育てがあると言うのがよく、全体構造の中でそのようなことが進められることが必要であると思いました。ありがとうございました。

(4) ニーズ調査の集計結果報告 (一部抜粋)

会長	それではご意見が無いようですので、次にニーズ調査の集計結果につきまして全部ではないと思いますがご報告をお願いします。よろしくをお願いします。
事務局	～資料6について説明～
会長	ありがとうございました。もともとの調査票は設問数が多いようでして、この中でも回答された方がおられると思いますが・・・。今説明をして頂きましたが、全部ではないですがどんな状況があるのかがお分かりいただけたかと思います。今お聞きいただきまして、これはどういう意味なのかとか、このグラフはどのように見ればいいのかなど、ご質問がありましたらお願いします。どうぞお願いします。
委員	11 ページの地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望ですが、このニーズ調査というのは、例えば5歳のお子さんと2歳のお子さんがいる場合は、5歳のお子さんの名前で出されるのですか。宛名のお子さんは5歳のお子さんですか。
事務局	そうです。
委員	そうすると、そのお子さんに地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターおやこYYひろば）の利用を聞いてその結果が利用をしていないが約8割ということでしょうか。
事務局	そうです。
委員	この設問だと、この割合は当然の結果だと思うのですが。問題は下のお子さんかと思いますが。
事務局	世帯に兄弟がいる場合、兄弟どちらか調査票を送付することとしましたが、設問1で末子の年齢を聞く個所があるのですが、宛名を下の子にしていますと末子の年齢が分からなくなってしまうため、県に相談した結果、上の子でという結果になりました。しかし、このようなこともありますので調査結果、ニーズ量などは先ほどの条件を考慮していきたいと思います。計画もそれを踏まえて考えて案を作ってい

	きたいと思います。
委員	ニーズ調査の結果については、ホームページとかに公開する予定ですか。
事務局	公開します。このような感じでグラフ化してホームページで公開していきます。この次の会議でも集計結果が出来るため、ご報告できればと思います。早い段階でご報告できればと思います。県へのニーズ量の報告もありますので、なるべく早い段階でホームページにあげていきたいと思います。
委員	調査結果の中で自由記載欄はどこにありますか。
事務局	調査票の一番最後にありますが、現在まとめております。次回ご報告します。
委員	はい、わかりました。無回答のお母さん方が多いのが、放課後児童クラブ利用状況と利用意向についてだと思えます。そんなに意見がないのかどうなのかというところが、自由記載欄を見るとわかるのかなと予測で思っております。
事務局	そういうことですね。どちらにしましても今は集計中ですので、まとまり次第報告します。そこに何らかの理由があるかもしれませんね。
委員	そうですね、理由が知りたいですね。
事務局	今回は時間的な理由もありましたので、次回に報告させていただきます。話は変わりますが、11 ページの間 15（地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターおやこＹＹひろば）の利用状況）についてですが、0歳児が50件の回答があります。1歳児45件、2歳児70件の回答がありまして、その中で利用していない方が0歳児が68.0%、1歳児が51.1%、2歳児が75.7%と保育園に通っていない方はすべて郵送で送らせていただいております。その回答についてはこのようなパーセントになるということがわかりました。
会長	ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。調査全体の設計を私たちが把握して進めていないものですから。
事務局	本来はこの調査票を煮詰めて頂き行うのが筋ですが、国の最終案が決定されたのが8月中旬でした。それまでは、調査項目については動かさないようにということでしたので、私たちももう少し前倒しで進めたかったのですができず、実質、業者選定を行って進めていくと10月早々になってしまい、調査、回収などを行い、12月早々には回収をしないと3月までには間に合わない状況でした。そのようなことで調査票については国の指針を基にしてこちらの方で項目を積み上げたものであることをご理解していただきたいと思います。次の会議の時に調査票もお配りします。小学生用と就学前用の調査票の2種類ありますのでお配りいたします。
会長	次回の会議では量の見込みをどうやって見込んだかを説明いただきそのデータについても説明いただけることになるとと思います。
委員	この調査票は、国のフォーマットで統一ではないのですか。
事務局	完全な統一ではないです。
委員	県のフォーマットでの統一でもないのですか。
事務局	そうです。
委員	山県市独自のアンケートですか。
事務局	市によって設問数が78問から100問というところもあります。各市町村毎に計画策定の内容が違ってきますのでそれに沿ってボリュームの増減があるということで、あまりに多いと回収率も低くなると想定されます。私どもは全国ベースに置き換えてあります。これがすべて全国共通ではありません。基本的事項は外せないものはあります。

9. その他

会長	その他はいかがですか。
会長	少し不安になりますよね。この先、どのような支援計画がつけられるのかということが。
事務局	国はこの先は認定こども園をしていきなさいということをお大前提に動いておりまして、ただ、国もどちらに動くかわからない状況でして、わかり次第私どもとしても提案はさせていただきます。
会長	はい、次、どうぞ。
委員	幼稚園の園長さんがいるので伺いたいのですが、今のはなぞの北幼稚園について岐阜市、山州市の園児の割合はどうか、あと幼稚園における預かり保育、延長保育、長期休暇などがどのくらいの需要があるか教えて頂きたいです。
委員	この子育て会議は幼稚園に直接影響がある会議で、園としては今のままの私学助成という形でやっていけるのですが・・・。 比率は岐阜市6で山州市4です。預かり保育は7時までです。土曜日也希望があればやっていますし、来年度以降は7時半からという早朝保育も考えております。 幼保連携型認定こども園という形で5、6年前からそのようなことを流してやっております。夏休み春休み等は希望があれば通常通り8時から7時までやっております。通常の保育は5時から預かり保育という時間が発生しておりますので、朝から来て7時まで来ている子は通常保育プラス預かり保育という流れでやっています。
委員	どのくらいご利用されていますか。
委員	25～30名ぐらい。全体では約1割です。
委員	先生から見て年々増えていると思われませんか。
委員	今年度に関しては若干右肩上がりですね。
委員	ありがとうございます。
会長	次、どうぞ。
委員	美山地区なのですが、保育園の統合のアンケートをいただき回答したのですが、その後どうなったのかというのが、保護者の中でも話出ている、周知されていないのですが、どういう方向性に行くのですか。
事務局	回答結果は、お話がありましたのでこちらから出させていただいたのですが。
委員	回答結果は保育園の掲示板の一角で掲示してあったようですが、結果的にその後どうなるのかが分からず周知されていないのですが。
事務局	3園の一体的な統合で考えていますが、施設の状況、ますますの美山地区の園児数減少により、検討中です。美山地域では統廃合についてアンケートは取らせて頂きましたが、現状は3園統合するのか2園統合するのか明確には決まっていない状況です。統合が必要ということは考えております。
委員	3園統合か2園統合はまだ決まっていないのですか。これって27年度から新しい制度が始まるのですよね。そこには間に合わないってことですか。統合とは別問題ですか。
事務局	別問題と考えて頂いて結構です。この計画では保育のあり方ということを中心にしており、統廃合は地域の実情を考慮してやっていくことと考えています。これと直接的に同じものという考え方でなくてもいいです。
会長	はい、次、どうぞ。
委員	山州市の公立保育園は認定保育園に移行していくことになると思いますが、施設

	型給付に保育園、認定こども園がありますが、保護者はそこに行くために認定を受けに行かなくてはならないですよね。その認定はどのようなものですか。
事務局	資料3の7ページ給付制度について説明をさせていただきます。 ～資料3の説明～ 補足で簡単に説明すると、1号認定、2号認定、3号認定は待機児童解消に向けた特に大都市圏で待機児童がいて入所ができない状況に対して1号、2号、3号で入所申込みをしていただき、入所の優先順位をつけることが狙いです。しかし山縣市につきましては待機児童がございません。まずほとんどの方が申請を出していただければ認定し、入所できる形になります。
会長	はい、まだまだご質問等があると思いますが、予定時間を過ぎましたので、次回にご質問をいただくということをお願いします。では、これで一応議事の方は終了させていただきますということではよろしいでしょうか。 では、事務局へお返しします。

10. 次回の日時について

事務局	ありがとうございました。では、次回の会議ですが、4月にニーズ量を報告する必要がありますので、3月に会議の方を開催させていただきます。 ～事務局よりスケジュール提案の説明～ 再度確認ですが、今回は3月10日月曜日の午後1時半からということで、場所等については場所の確保等を行い、ご案内させていただきます。 もしよろしければ、インターネットで内閣府、子ども・子育て会議で検索すると情報が見れますのでよろしくお願いします。今、最新が1月29日のもので、そこでもかなりの項目で変更がされております。よろしければ現在、国の状況がどのようになっているのかわかりますのでご覧ください。このような情報は新聞などにはなかなか出てこないものです。私どもも国の会議録などを読んで動向を把握しております。
-----	---

11. 閉会

事務局	では、長時間にわたりありがとうございました。次回会議の資料も事前に配布させていただきます。資料で分からないことや、今お話ししました内容も事務局にお尋ねいただければ、わかる範囲で調べてご連絡させていただきます。今後ともスケジュール的には厳しいということもありますが、ご協力をいただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
-----	--